

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成28年2月4日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (建設発生土等の長期的な品質管理向上技術に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、平成28年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究(土研提案型：指定機関・公募共同研究)

建設発生土等の長期的な品質管理向上技術に関する共同研究 (詳細は別添-1)	平成28年度～平成30年度
担当：地質・地盤研究グループ 施工技術チーム 技術推進本部 先端技術チーム	
共同研究の目的(必要性) 本研究では、今後、益々利用が見込まれる建設発生土を対象に、固化材を低配合した改良土等の強度低下等のメカニズムの解明とともに、長期的な安定性・耐久性向上に向けた施工技術、品質管理手法の提案を目的に、実態把握及び実験等を行うものとする。 建設発生土(改良土等)の長期的な耐久性、強度低下等のメカニズム解明は、室内試験や既存盛土のサンプリング・分析を行い、長期的な品質確保を目指した確実な施工手法やメンテナンスを考慮した品質管理技術の提案は、実大実験等により明らかにする。 本研究で得られた成果や知見は、「建設発生土利用技術マニュアル」(土木研究所)、「道路土工-盛土工指針(日本道路協会)等の技術指針類に反映させる。	
共同研究の内容 (1) 建設発生土(改良土等)の長期的な耐久性、強度低下等のメカニズムの解明と長期的な品質確保 (2) 改良土等の長期的な品質確保を目指した確実な施工手法及びメンテナンスを考慮した品質管理技術の提案	

2. 募集期間 **平成28年2月4日(木)から平成28年3月7日(月) 17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
一般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 大住 道生 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ 施工技術チーム 上席研究員 宮武 裕昭 主任研究員 森 芳徳 電話 029-879-6759

別添 - 1

1. 共同研究の名称

建設発生土等の長期的な品質管理向上技術に関する共同研究

2. 共同研究の概要

＜ 共同研究の目的 ＞

本研究では、今後、益々利用が見込まれる建設発生土を対象に、固化材を低配合した改良土等の強度低下等のメカニズムの解明とともに、長期的な安定性・耐久性向上に向けた施工技術、品質管理手法の提案を目的に、実態把握及び実験等を行うものとする。

建設発生土（改良土等）の長期的な耐久性、強度低下等のメカニズム解明は、室内試験や既存盛土のサンプリング・分析を行い、長期的な品質確保を目指した確実な施工手法やメンテナンスを考慮した品質管理技術の提案は、実大実験等により明らかにする。

本研究で得られた成果や知見は、「建設発生土利用技術マニュアル」（土木研究所）、「道路土工－盛土工指針（日本道路協会）等の技術指針類に反映させる。

＜ 共同研究の内容 ＞

共同研究の内容（項目）

- (1) 建設発生土（改良土等）の長期的な耐久性、強度低下等のメカニズムの解明と長期的な品質確保
 - ① 改良土等の劣化促進試験
 - ② 低改良土等の密度と強度等の関連性分析
- (2) 改良土等の長期的な品質確保を目指した確実な施工手法及びメンテナンスを考慮した品質管理技術の提案
 - ① 機械特性に応じた低改良土等による盛土の施工手法の確立
 - ② 低改良土等の材料特性に応じた合理的な品質管理手法の確立
 - ③ 施工時データの維持管理段階での活用検討

3. 実施期間 平成28年度～平成30年度

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担※1			年次計画		
		土研	指定機関※2	共同研究者	28年度	29年度	30年度
(1) 建設発生土（改良土等）の長期的な耐久性、強度低下等のメカニズムの解明と長期的な品質確保	①改良土等の劣化促進試験	○	◎	○	←————→		
	②低改良土等の密度と強度等の関連性分析	◎	◎	○	←————→		
(2) 改良土等の長期的な品質確保を目指した確実な施工手法及びメンテナンスを考慮した品質管理技術の提案	①機械特性に応じた低改良土等による盛土の施工手法の確立	○	○	◎	←————→		
	②低改良土等の材料特性に応じた合理的な品質管理手法の確立	◎	◎	◎	←————→		
	③施工時データの維持管理段階での活用検討	◎	○	◎	←————→		

＜裏面もご覧下さい＞

- ※ 1 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印、従として分担する場合は○印とする。
- ※ 2 指定機関とは、国立研究開発法人土木研究所共同研究規程に基づく手続きにより、本共同研究の相手方として承認され、本共同研究の実施について承諾を受けた国立大学法人東京大学生産技術研究所、一般社団法人セメント協会及び日本石灰協会である。

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

- ① 盛土締固めにおける施工効率及び品質向上を目的とした施工手法、又は盛土締固め施工時の品質確保を目的とした効果的・効率的な品質管理手法に関する研究の実績を有すること。
- ② 国、地方公共団体、学会、又は公的研究機関が主催する盛土の施工に関する委員会又は共同研究に参画した技術者が本共同研究に参画すること。
- ③ 上記条件すべてを満たし、本共同研究に必要な費用を分担できること。

< 参加者数 >

10 者程度を想定

< 参加者の選定方法 >

書類審査、必要に応じて個別ヒアリングを行い選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者

地質・地盤研究グループ 施工技術チーム
宮武・森 (TEL : 029-879-6759)